

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	26年度決 算額[千 円]	27年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度予 算額[千 円]
1	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防事務に要する経費	消防総務課			①災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、計画的な資機材整備を継続する必要がある。	102,330	94,499	6精査・検証	①市民の安全で安心な生活を守るため、消防活動に必要な資機材、装備品は必要不可欠である。 ②災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も継続した経費削減を図る。	98,848
2	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防庁舎の管理運営に要する経費	消防総務課			①消防庁舎各種設備の保守管理業務委託 ②消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点の機能維持に必要であり継続する必要がある。	10,618	12,922	6精査・検証	①消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠である。 ②継続的に保守点検を実施し、防災活動拠点としての機能を維持する。	16,952
3	一般	9	1	1	234消防力の強化	職員研修に要する経費	消防総務課	○		①消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の修得が必要である。	3,615	6,492	6精査・検証	①専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。 ②消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。	4,410
4	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防車両更新事業	消防総務課	○	○	①消防活動を維持するために必要な、消防車両及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	36,022	73,465	6精査・検証	①市民の安全安心のため消防車両等の更新は、継続していかなければならない。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速且つ、的確な活動が出来る車両を更新整備する。	47,248
5	一般	9	1	3	234消防力の強化	くぬぎ山消防署建替事業	消防総務課	○	○	①耐震性に優れた消防署に建替えることにより、災害活動拠点としての機能を確保する。 ②建替工事が終了したため、今後は適正な維持・管理を行っていく必要がある。	243,099	111,994	1終了	①旧くぬぎ山消防署の解体及び外構工事が完了したことにより、本事業がすべて完了したため。 ②なし。	0
6	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防本部庁舎建替事業	消防総務課	○	○	①耐震性能に優れた消防本部庁舎に建替えることにより、災害活動拠点としての機能を確保する。 ②災害対応に支障を来すことなく、工事を進める必要がある。また、建替場所が住宅地に囲まれていることから、騒音や振動に対する近隣住民への配慮が必要である。	603,366	108,940	6精査・検証	①活動拠点である消防本部庁舎施設整備を早急を実施する必要があるため。 ②倉庫棟及び外構工事を実施し、本事業を完了する。	37,430
7	一般	9	1	1	234消防力の強化	予防業務に要する経費	予防課	○		①火災予防を推進するため、消防訓練や住宅用火災警報器のPR、建築確認時の消防設備の設置指導・検査及び立入検査を行う。 ②住宅用火災警報器普及調査と併せ、未設置住宅への設置推進及び設置済住宅への維持管理の周知が課題。	1,363	2,473	6精査・検証	①住宅用火災警報器普及調査未実施地区の調査と併せ、設置済住宅への維持管理周知を実施したため。 ②住宅用火災警報器普及調査の未実施及び未設置住宅を中心に継続的に調査を実施するとともに、設置済み住宅における維持管理の周知及び広報を実施する。	2,822
8	一般	9	1	1	234消防力の強化	警防業務に要する経費	警防課	○		①救急車が到着するまでの間、現場に居合わせた人により効果的な応急手当が実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。 ②継続的に講習会を開催し修了者を増やしているが、更なる受講者の拡大のため効果的な広報活動等の実施を検討する。	13,488	13,231	6精査・検証	①継続的に取り組み検証し、対応することが安全に暮らせる社会につながる。 ②継続的に講習会を実施することにより、講習修了者を増やす。	14,958

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	26年度決 算額[千 円]	27年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度予 算額[千 円]
9	一般	9	1	1	234消防力の強化	大規模災害時応援に要する経費	警防課			①大規模または特殊な災害時において被災地の消防力では対応困難な場合に緊急消防援助隊、千葉県広域応援隊を被災地に派遣し、災害対応活動、復興復旧対応など、応急災害対策を実施する。 ②今後、防災に対する危機管理体制はさらに進むことが予測されることから人員、資器材、燃料、食料の維持管理を含め、派遣体制の充実に努める必要がある。	0	0	6精査・検証	①消防組織法に規定される事業で継続的に取り組む必要があり、維持管理にとどまらず、進歩することが災害対応力の強化に繋がるため。 ②備蓄食料の管理及び更新、燃料の確保を実施する。	699
10	一般	9	1	2	234消防力の強化	消防団運営に要する経費	警防課	○		①各種災害に出動して中心的な役割を果たす消防団を維持するため、計画的な運営を図るとともに、取り巻く環境を整備する。 ②環境整備及び広報活動の拡充を行い、団員の減少に歯止めをかけ人員を確保する。	24,039	27,433	6精査・検証	①危機管理体制や地域防災力の向上など、防災に関する市民ニーズは上昇傾向にあり、今後、さらに高まると予測できるため、継続して行う必要がある事業である。 ②消防団施設の維持管理及び、団員確保のための広報活動の拡充を図る。	29,260
11	一般	9	1	2	234消防力の強化	消防団装備品整備事業	警防課	○	○	①消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。 ②消防団装備品整備事業として、後期基本計画第3次実施計画に計上し、平成27年度から平成31年度にかけて計画的に装備品を整備する必要がある。	0	4,788	6精査・検証	①消防団装備品の充実強化に関しては、平成27年度から計画的に進めているところであり、今後もこれに係る手続きを進める必要がある。 ②消防団の装備品について「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」による消防団装備品の更新及び日本防災協会認定品への防火衣の更新を行う。	980